

始める前に用意するもの

- ・57-773 パンチニードル用フープ〈12cm〉(別売)
- または 57-774 パンチニードル用フープ〈18cm〉(別売)
- ・57-767/57-768 パンチニードル用ファブリック (別売)
- ・57-769 パンチニードル用ボンド (別売)
- ・毛糸…中細・合太・並太、またはそれに相当する太さの素材

パンチニードル用以外の生地はステッチがきれいに刺せません。  
パンチニードル専用の生地をお使いください。

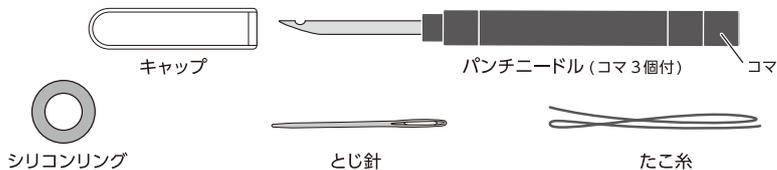
棒針表記で3~7号のストレートの毛糸  
※3~7号表記でもすべての毛糸が適しているわけではありません

# Punch Needle

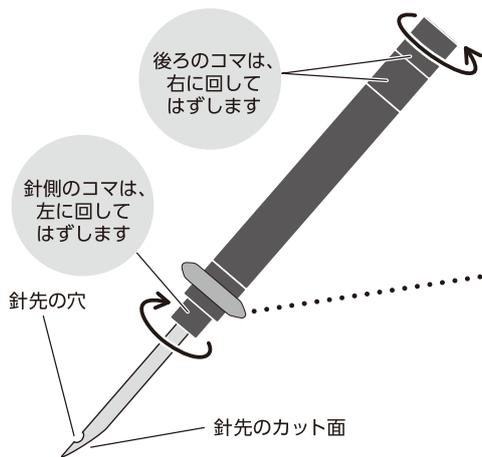
パンチニードル  
3.5mm

## 使い方説明書

### セット内容



### パンチニードルの各部名称と針先の長さの変え方



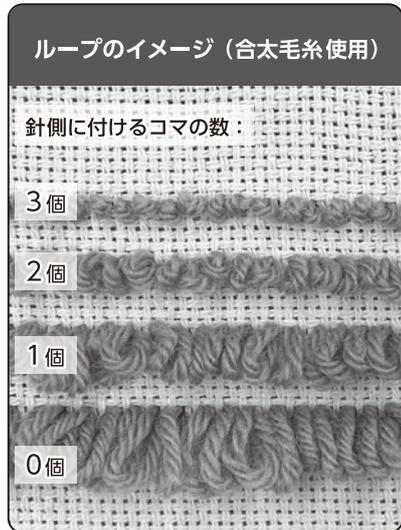
コマを軽く回すとはずれ、パンチニードル本体の前後に付け替えて針の長さを変えられます。使う毛糸によって仕上がりの雰囲気が変わるので、お好みのループでお楽しみください。

**POINT**

付属のシリコンリングは、指当てとして付けられます。

※長時間指で押し続けると、ずれてくることがあります。

針側に付けるコマの数	針先の長さ ※購入時はコマを針側に1個付けた状態でセットされています	使用の目安
3個	針先：2.5cm	ループを小さくしたい時。ループがかなり小さく、毛糸が太くなるとはずれやすいので慎重に。ループが小さいと感じたら、針側のコマを1個はずす。※ステッチ面を表にしたい時に使うと毛糸の節約になります。
2個	針先：3.5cm	標準で使いやすい長さ。ループが小さいと感じたら、針側のコマを1個はずす。
1個	針先：4.5cm	標準で使いやすい長さ。ループが大きいと感じたら、針側のコマを1個前に増やす。
0個	針先：5.5cm	ループを大きくしたい時。



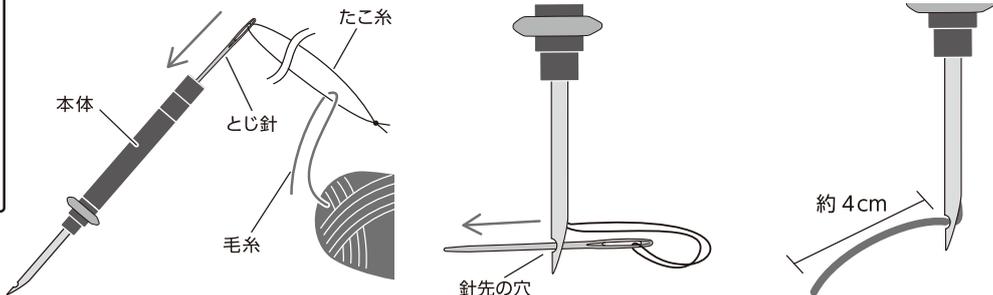
※わかりやすくするために、ループは寝かせています

### 糸の通し方

とじ針にたこ糸を通して固結びし、スライダーとして使用します。

※たこ糸は切らずに長いまま使用します。

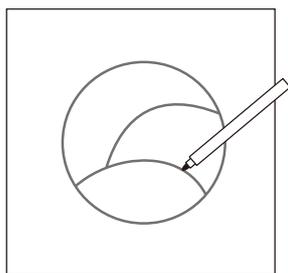
- ① たこ糸の輪に毛糸を通し、とじ針を本体の後ろから入れます。
- ② 針先の穴にとじ針を通して毛糸を通します。
- ③ 毛糸は針先の穴から約4cm出しておきます。



## 図案の描き方

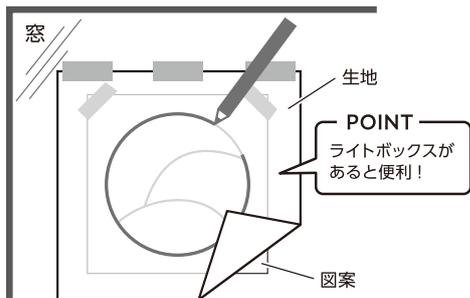
### 直接生地に描く場合

太めのペンやチャコペルで直接図案を描きます。



図案を写す場合 ※厚手の生地なので図案が透けにくいです。

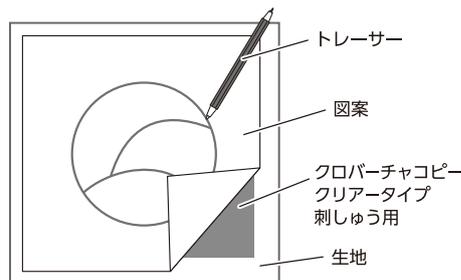
図案の上に生地をのせても見えない場合は、光で透けさせた状態にして写してください。



- ① 図案の紙を窓にテープなどで貼る。  
※図案の線は太い方が見えやすいです。
- ② 図案の上に生地を配置し、片手で押さえる。  
または、テープなどで固定して透けた図案を写す。

24-149

「クロバーチャコピークリアタイプ 刺しゅう用〈片面・青〉」(別売)を使って写す場合

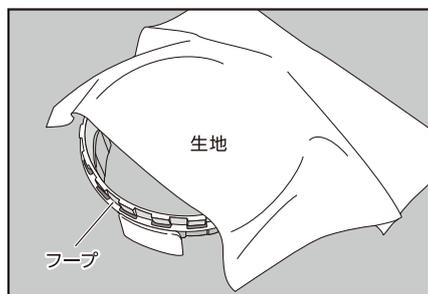


「クロバーチャコピークリアタイプ 刺しゅう用〈片面・青〉」を生地と図案の間に入れ、トレーサーなどで図案を写します。生地に凹凸があるので、筆圧を強めに何度も往復して写してください。

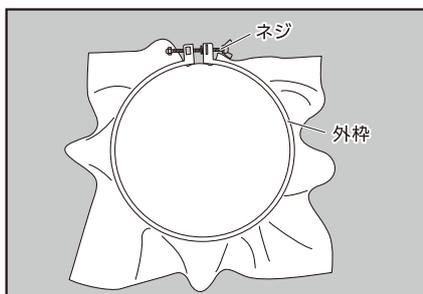
## フープに生地を張る

針の長さに合わせて付属の脚で高さを変えられる専用のクロバーパンチニードル用フープをお使いください。

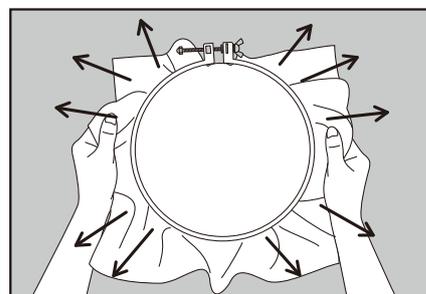
(専用のフープ以外を使うと、生地の張りが弱くてステッチがきれいに刺せなかったり、高さが足りず机などの台に針が当たり、破損の原因になります。)



- ① 内枠に生地をかぶせます。



- ② 外枠のネジをゆるめて枠を広げ、①にかぶせます。



- ③ 生地を引っ張り、ネジを少しずつ締めるという動作を数回くり返し、生地をピンと張ります。

※針先で机などを傷つけないために

- 生地はピンと張ってください。
- パンチニードルの針側に付けるコマが0~2個の時、必ずフープに脚を取り付けて使用してください。

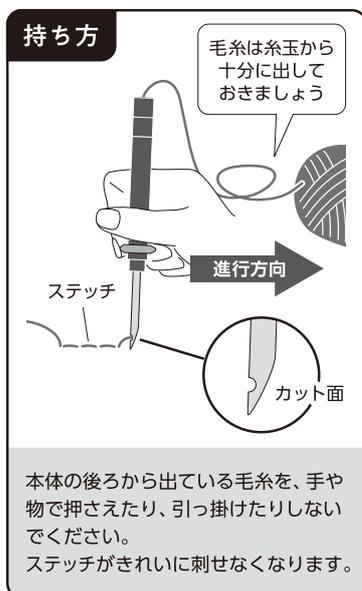
POINT

最後までネジを締めたら、生地の張りを確認してください。刺しているうちに生地がゆるんだと感じたら張りなおします。

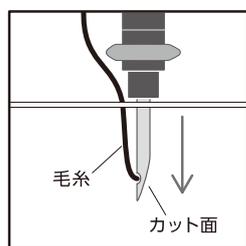
## ステッチを刺す

針先のカット面が進行方向を向くように刺し進めます。

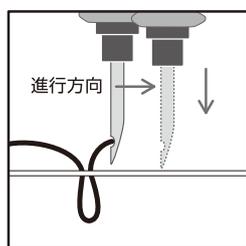
POINT 毛糸によってステッチの間隔は変わりますが、3~5mm程の間隔を目安に刺してください。



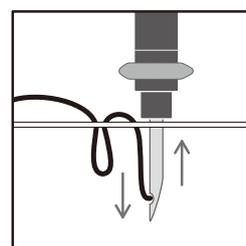
本体の後ろから出ている毛糸を、手や物で押さえたり、引っ掛けたりしないでください。ステッチがきれいに刺せなくなります。



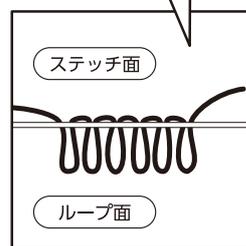
- ① 針の根元まで刺し、そのまま真上に引き上げます。



- ② 針の先端を生地から離さず滑らすように2針目を刺します。



- ③ そのまま真上に引き上げます。



- ④ ①~③をくり返します。全て刺し終わったら、糸端は4cmほど残して切ってください。

POINT 針の先端を生地から離すと糸が抜けるので注意。

「ステッチの種類」、「糸始末の方法」、「図案」は裏面です →

⑧ 本商品や使い方説明書を無断で複製し配布することを禁じます。

© 2024 CLOVER

クロバー株式会社

042402

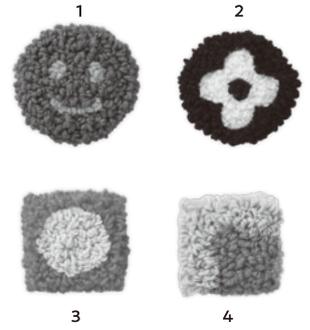


用意する道具

- ・パンチニードル
- ・パンチニードル用フープ〈12cm〉(57-773)  
または パンチニードル用フープ〈18cm〉(57-774)
- ・パンチニードル用ボンド(57-769)
- ・縫い針
- ・はさみ

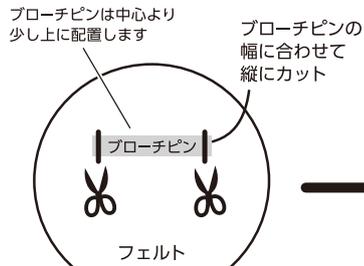
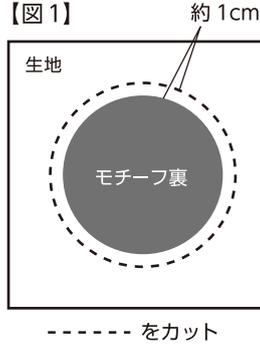
用意する素材

- ・パンチニードル用ファブリック(57-767/57-768)
  - ・お好みの毛糸
  - ・手縫い糸
  - ・フェルト
  - ・ブローチピン
- 作品1と2...7×7cm  
作品3と4...6×6cm
- ※写真の作品例は中細毛糸と並太毛糸を使用しています。



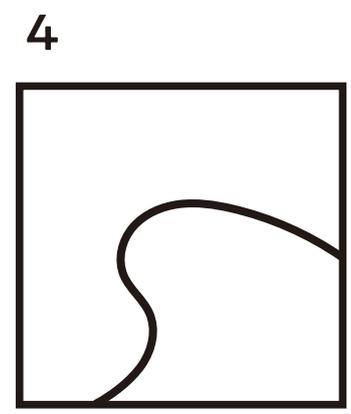
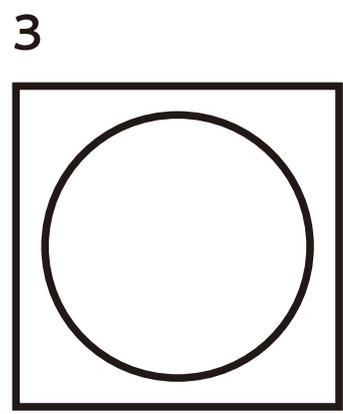
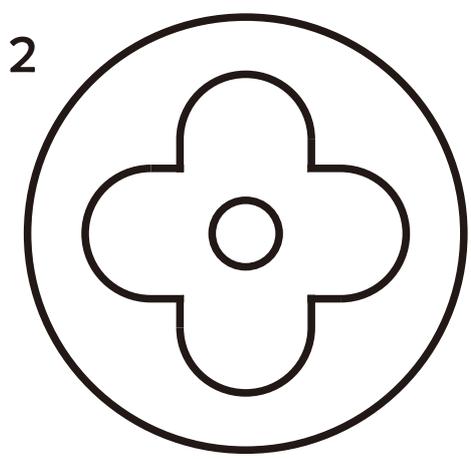
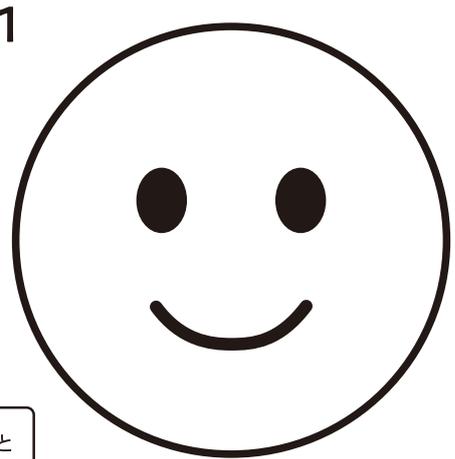
作り方 (写真の作品例は、パンチニードルの針側にコマを2個セットして作っています。)

1. 図案を生地に写し(説明書表面の「図案の描き方」を参照)、お好みの毛糸でステッチする。
2. 糸端をボンドで処理したら、図案の周囲約1cm外側で生地をカットする。  
【図1】
3. モチーフ裏面の周囲にボンドを塗り、生地を裏側に折り込みながら貼る。  
【図2】
4. 1でコピーした図案の型紙に合わせてフェルトを丸く切り抜き、ブローチピンに合わせて切り込みを入れる。切り込みにブローチピンを通し、ボンドで貼り合わせるか、フェルトの周囲とモチーフを合わせてかがる。



**アレンジ**  
.....  
倍率を変えて大きな作品にしたり、リボンを挟んでチャームにしても!

**POINT**  
くちの線の部分は1往復するときれいに線が出ます。作品の表を確認しながら慎重に刺してください。



**△ 注意**  
安全確保のため取り扱いにご注意ください。

**使用上の注意**  
・針先は尖っているので、取り扱いにご注意の上、お子様の手の届かない所にキャップを付けて保管してください。  
・針先の変形の恐れがありますので、必ずクロバーの専用のフープをご使用ください。

▼商品に不都合な点がございましたら、クロバー(株)「お客様係」までお問合せください。

**クロバー株式会社**  
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5  
「お客様係」TEL.(06)6978-2277

⑤ 本商品や使い方説明書を無断で複製し配布することを禁じます。

© 2024 CLOVER 042402